

# 次世代エコーレイン新聞

発行者 松尾 遼

安全な水を飲めない国々

が安全な水を飲めなくなる。

夏休みのある日の新聞というのを知らなくてもショウク

で、世界で約9億人もの人が受けた。水道をひねったら当たり前のように飲んでる水。でもそれは決して当たり前ではないと気がきました。

## 雨雲発生機つき飛行機『エコーレイン ecorain』



### 〈特長〉

- ・太陽光発電でプロペラを回して飛ぶ。
- ・雨雲発生機でピンポイントで雨を降らせる。
- ・ゲリラ豪雨をげき退するビームがある。

世界中に安全な水を!!

この飛行機は、雨が不足している地いきに飛んで行って雨雲を発生させます。ため池やオアシスなどにピンポイントで雨を降らせ水不足を解消します。

ゲリラ豪雨にも対応

近ごろ、日本でも世界でも異常気象が多くなり、ゲリラふう雨と呼ばれる急な雨で大きな被害が起ころう

### データファイル 8億8400万人

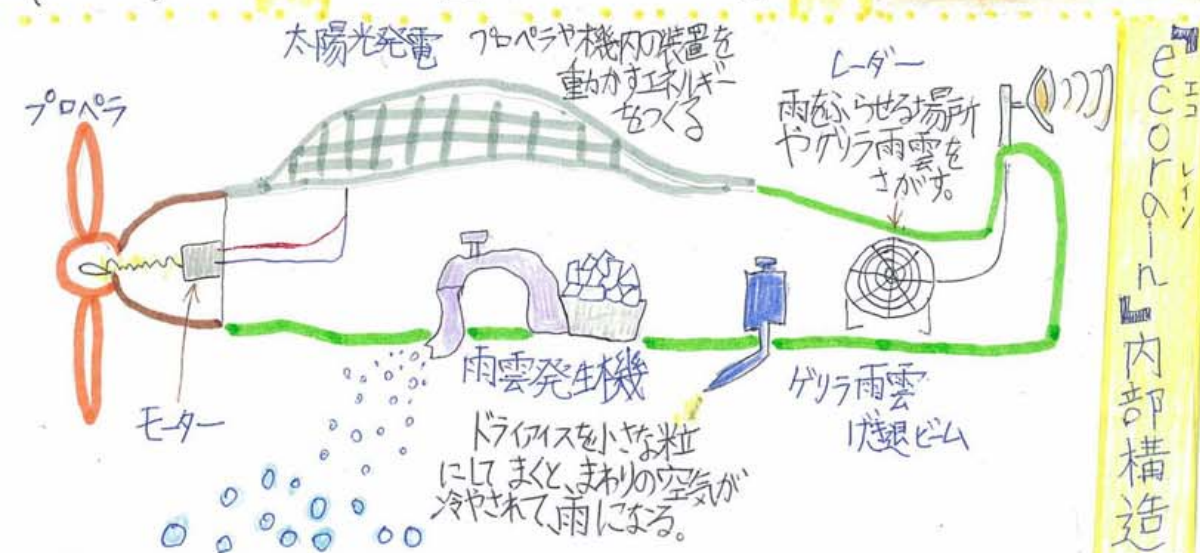
安全な飲み水を継続して利用できない人の数(2008年)。世界人口の約13%に相当する。貧困や人口急増などのため上水道の整備が遅れている途上国に集中している。サハラ砂漠以南のアフリカ諸国が37%を占める。それでも先進国の資金援助などで1990年から10年改善した。15年までに世界人口比12%の国連目標まであと少し。

| 地域            | 主な国                | 対象人口     |
|---------------|--------------------|----------|
| サハラ砂漠以南のアフリカ  | ケニア、中央アフリカ、南アフリカなど | 3億3000万人 |
| 南アジア          | インド、イラン、パキスタンなど    | 2億2200万人 |
| 東アジア          | 中国、韓国、モンゴルなど       | 1億5100万人 |
| 東南アジア         | タイ、インドネシア、フィリピンなど  | 8300万人   |
| ラテンアメリカとカリブ諸国 | メキシコ、ブラジル、アルゼンチンなど | 3800万人   |
| 西アジア          | サウジアラビア、イラク、トルコなど  | 2100万人   |
| その他           |                    | 3900万人   |
| 合計            | 8億8400万人(世界人口比13%) |          |

※世界保健機関と国連児童基金の報告書と、国土交通省「2010年版日本の水資源」を基に作成

読売新聞

8月16日



います。この飛行機はゲリラふう雨の雨雲をいち早く察知し、レーザー光線で安全な場所で雨が降るようにうながします。